

令和 2 年度廃棄物施策の実施状況について

1 ごみ処理施策

(1) ごみ減量化・資源化及び適正排出についての普及啓発

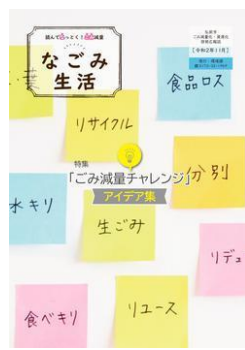
①広報誌「広報ひろさき」【継続】

掲載時期	掲載内容
毎月 1 日号	たか丸くんのごみ減量速報
4/1	電池の処分について
5/1	ごみ集積ボックス設置事業費補助金の紹介 ごみの捨て方（新型コロナウイルス感染症対策）
6/1	不法投棄・野焼き防止の啓発 「ミニ・キエーロ」モニター募集
8/1	「ひろさきリユース促進掲示板」登録者募集 「古紙類回収ステーション」リニューアル
9/1	「ミニ・キエーロ」モニター事業の実施結果
10/15	「スポGOMI大会 in 弘前」参加者募集
12/1	マスクの適正排出
12/15	年末年始のごみの収集
1/1	弘前市一般廃棄物処理基本計画改定へのパブリックコメント募集 不用品はリユースへ（ジモティーの紹介）
2/1	3キリ運動のすすめ
3/1	引越しごみの出し方（リユース・リサイクルのすすめ）

※農業ひろさき 7/1 号「農業ごみの適正排出」、10/1「野焼き・不法投棄防止の啓発」

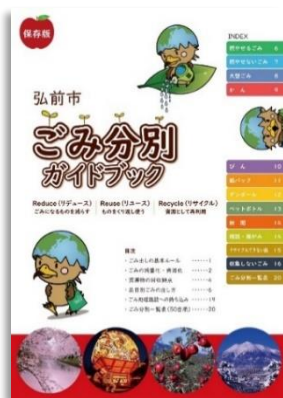
②ごみに特化した広報誌「なごみ生活」【継続】

配布時期	掲載内容
7/15 広報ひろさき 同時配布	<ul style="list-style-type: none"> ○プラスチックごみ減量特集 ○ひろさきリユース促進掲示板○事業系ごみの展開検査 ○協定締結団体の紹介○エコストア・エコオフィス紹介 ○電池の処分
11/15 広報ひろさき 同時配布	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ減量チャレンジアイデア特集 ○エコイベントのすすめ・協定締結団体紹介 ○エコストア・エコオフィス紹介・災害廃棄物処理計画
3/15 広報ひろさき 同時配布	<ul style="list-style-type: none"> ○ベジブロス特集 ○分別ステーション設置 in 弘前城秋の大祭典 ○スポGOM I 大会 in 弘前○協定締結団体紹介 ○エコストア・エコオフィス紹介○ジモティー ○キエーロモニター結果



③ごみ分別ガイドブック【継続】

配布等	掲載内容
転入者へ配布 各公共施設へ 備え付け	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ出しの基本ルール○ごみの減量化・資源化 ○資源物の回収拠点○品目別ごみの出し方 ○ごみ処理施設への持ち込み○ごみ分別一覧表(50音順)



④ラジオ広報 FMアップルウェーブ「行政なんでも情報」【継続】

毎月第1金曜 11:30~11:40 頃放送（10分程度）ほか

放送日	放送内容
4/6	マスク等の捨て方について
5/1	ドギーバッグで食品ロスを減らそう！
5/15	ごみ集積ボックス設置事業費補助金について
6/5	ミニ・キエーロで生ごみを減らしませんか
7/3	ひろさきリユース促進掲示板
8/7	古紙類回収ステーションのリニューアルについて
9/4	不法投棄・不適正排出防止キャンペーンについて
9/24	スポGOMI大会 in 弘前について
10/2	衣類回収ボックスについて
10/27	コロナ禍でのごみについて
11/6	食品ロスについて
12/4	年末年始のごみの出し方について
1/8	冬季間のごみの出し方について
2/5	家電の捨て方について

※FMアップルウェーブ「暮らしのゼミナール」10/2・10/9 放送「3R と具体的取組」

⑤ごみ分別収集アプリ【継続】

50音別分別ガイドや、収集日カレンダー等の機能を搭載した、スマートフォン用アプリを導入し、無料で配信しています。

年度	H29	H30	R1	R2 (~12/31)
ダウンロード数	1,205	1,985	4,653	2,062



基本計画の関連項目 普及啓発施策一ア. 広報誌やインターネット等による情報発信 (P. 59)

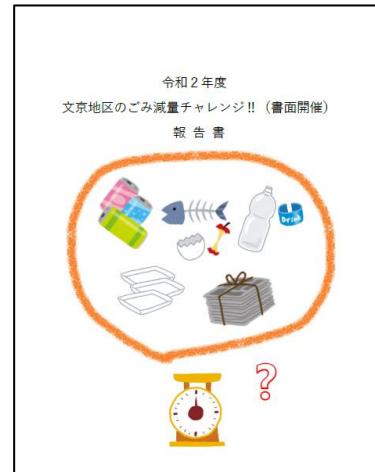
⑥市町会連合会との協働によるワークショップ型ごみ減量等啓発活動

「ごみ減量チャレンジ」開催【継続】

テーマ：ごみを減らすための楽しいアイデアを考えよう

地区住民に広めるアイデアを考えよう

ごみ減量チャレンジを作成しよう



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文京地区の書面開催を除き、予定していた各地区での開催を中止。

⑦出前講座【継続】

●実施実績（令和3年2月末時点）

講座名	実施回数	人数
1. ホントは知らないごみのお話 ～減量化って？資源化って？～	4	93
2. ごみの分け方出し方（事業所版）	-	-
3. 地域のみんなではじめよう 再生資源回収運動	1	20
合 計	5	113

※令和元年度は19回実施



⑧スポGOMI大会の開催【新規】

スポーツとごみ拾いを掛け合わせた、年齢・性別を問わず多くの方が参加できる競技であるスポGOMI大会を市内で開催することで、ポイ捨てなどごみ問題を考えるきっかけづくりとし、若年層や普段環境問題に関心のない層の環境意識向上を図りました。



チーム	参加人数	回収量 (kg)
16	63	14.14



⑨イベント会場での分別ステーション設置【新規】

イベント会場に分別を補助する人を配置した分別ステーションを設けることで、イベント時に発生するごみの適正処理を促し、エコイベントに関心を持ってもらうことで、来場者の環境意識向上を図りました。

分別区分	資源回収量
燃やせるごみ	ペットボトル 10 kg以上
割り箸	かん 10 kg未満
ペットボトル・キャップ	びん 10 kg未満
びん	割り箸 260 本以上
かん・プルタブ	キャップ 150 個以上
	プルタブ 70 個以上



(2) ミニ・キエーロのモニター事業【新規】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化を推進するため、生ごみ消滅型処理ボックス「ミニ・キエーロ」の市民向けモニター事業を行いました。



期間	モニター参加	アンケート回答
1か月	174	161

基本計画の関連項目

普及啓発施策一オ. ダンボールコンポストの普及推進(P. 60)

(3) 電動式生ごみ処理機の貸与【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、電動式生ごみ処理機の貸与を実施しています。

年度	H29	H30	R1	R2 (~12/31)
貸与台数	37	40	32	33

基本計画の関連項目

普及啓発施策一カ. 家庭用電動生ごみ処理機の普及啓発(P. 60)

(4) 古紙類回収ステーション【継続】

古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）のリサイクルを推進するため、市内5カ所の公共施設に回収ステーションを設置し、拠点回収を実施しています。

令和元年度下半期から回収ステーションごとオフィス町内会へ加入することで、新たにダンボールを回収品目に加えたほか、令和2年度にはステーションの改装を行うなど、利便性の向上を図っています。

●回収ステーション設置場所（5カ所）

①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④土手町倉庫 ⑤総合学習センター

品目	H29	H30	R1	R2 (~12/31)
	回収量 (kg)	回収量 (kg)	回収量 (kg)	回収量 (kg)
新聞紙	26,115	21,989	17,929	12,383
雑誌・雑がみ	54,370	40,655	43,501	35,702
ダンボール	—	—	862	3,605
古紙類合計	80,485	62,644	62,292	51,690



(5) 古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）の行政回収【継続】

古紙類（新聞、雑誌、雑がみ）のリサイクルを推進するため、平成 24 年度から月 1 回の行政回収を実施しています。回収した古紙類は、資源回収業者に売払い、市の歳入としています。

品目	H29		H30		R1		R2 (~12/31)	
	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)
新聞紙	554,330	6,673,276	497,800	6,434,146	475,800	5,374,199	307,158	2,581,960
雑誌・ 雑がみ	522,860	3,910,825	504,390	2,986,204	882,090	4,818,483	629,140	1,722,735
古紙類 合計	1,077,190	10,584,101	1,002,190	9,420,350	1,357,890	10,192,682	936,298	4,304,695

基本計画の関連項目

普及啓発施策一ク. 古紙類回収の推進(P. 60)

(6) 使用済小型家電リサイクル【継続】

「使用済小型電子機器等の再資源化に関する法律」の施行に伴い、金属資源を有効利用するため、平成24年度から圏域市町村（黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村）と合同で回収ボックスなどによる回収及び中間処理施設でのピックアップ回収を実施しています。

また、圏域市町村と定期的に会議を開催し、効率的・効果的な回収方法について協議しているほか、平成28年3月に合同で国の認定事業者であるリネットジャパン株式会社と宅配便回収についての協定を締結しています。

※協定の締結は北東北の自治体初、定住自立圏関係市町村による同時締結は全国初

※中国のプラスチック輸入規制の影響で令和2年度から小型家電の回収は逆有償化

・回収ボックス設置場所（11か所）

- ①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④総合学習センター
 ⑤ヒロロスクエア ⑥弘前地区環境整備センター ⑦ケーズデンキ弘前本店
 ⑧～⑩ユニバース堅田店・南大町店・城東店・松原店
 ⑫～⑰市内各出張所窓口回収（石川・裾野・高杉・新和・東目屋・船沢）

回収量 (単位:kg)	H29	H30	R1	R2 (～12/31)
ボックス回収	4,397	3,260	3,530	2,810
ピックアップ回収	18,870	20,867	15,904	6,498
イベント回収	8	0	0	0
宅配便回収	2,390	2,349	3,665	1,433
計	25,665	26,476	23,099	10,741



(7) 衣類回収【継続】

平成 27 年度から市役所などの公共施設に衣類回収ボックスを設置し、家庭で不用になった衣類を回収しているほか、再生資源回収運動の回収品目にも追加しています。

・回収設置場所（17 か所）

- | | | | |
|----------------------------------|--------------|-----------|-----------|
| ①市役所本庁舎 | ②岩木庁舎 | ③相馬庁舎 | ④総合学習センター |
| ⑤ヒロロスクエア | ⑥清水交流センター | ⑦千年交流センター | |
| ⑧北辰学区高杉ふれあいセンター | ⑨イオンタウン樋の口 | | |
| ⑩ユニバース松原店 | ⑪イトーヨーカドー弘前店 | ⑫いとく浜の町店 | |
| ⑬～⑰市内 5 出張所窓口回収（石川・裾野・新和・東目屋・船沢） | | | |

年度	H29	H30	R1	R2 (~12/31)
回収量 (kg)	86,730	98,111	134,513	129,747



(8) 再生資源回収運動【継続】

町会・子ども会・PTAなどの団体が、回収の日時・場所を決め、家庭から出る資源物を回収業者に引き取ってもらう自主的なリサイクル活動に対し、回収量1kgあたり4円の報償金を交付しています。

●回収実績（単位：kg）

品目		年度			
		H29	H30	R1	R2 (~12/31)
古紙類	新聞紙	803,649	694,218	595,244	398,717
	雑誌類	373,669	318,961	295,383	231,883
	ダンボール	401,205	375,473	380,433	305,901
	紙パック	21,552	20,326	18,520	14,627
古紙類計		1,600,075	1,408,978	1,289,580	951,128
アルミ缶		62,019	54,986	51,489	41,615
衣類・布類		7,181	6,770	7,680	6,718
ビールケース		896	830	828	460
ペットボトル		6,764	22,831	24,845	21,480
びん		35,086	31,996	26,211	17,290
合計		1,712,021	1,526,391	1,400,633	1,038,691

●報償金交付実績

年度	H29		H30		R1		R2 (~12/31)	
	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)
町会	70	2,442,160	74	2,317,312	71	2,217,196	72	1,840,384
婦人会	13	264,684	12	217,248	9	149,792	9	120,856
P T A	41	2,651,776	42	2,385,996	37	2,036,608	37	1,409,048
幼稚園・保育所	9	147,416	9	126,232	9	116,548	9	91,304
子供会	5	86,224	5	86,232	6	125,936	6	100,240
その他	38	1,255,824	38	972,544	39	956,452	40	592,932
合計	176	6,848,084	180	6,105,564	171	5,602,532	173	4,154,764

(9) 生ごみ堆肥化容器の斡旋補助【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、町会連合会の斡旋による生ごみ堆肥化容器の購入1基に対し、2,000円の補助金を交付しています。

年度	H29	H30	R1	R2
補助基数	68	34	43	34
補助額(円)	136,000	68,000	86,000	68,000

基本計画の関連項目 ▶ 経済的動機付けによる施策一テ. 生ごみ堆肥化容器の購入補助(P. 62)

(10) 廃棄物減量等推進員【継続】

町内のごみ問題を把握し、ごみの適正排出、分別促進、不法投棄防止のための指導等を行うため、各町内会に推進員を配置しています。

年度	H29	H30	R1	R2 (1月末時点)
設置町会数	278	283	282	271
配置人数	586	610	618	601

基本計画の関連項目 ▶ 市民や事業者の協力による施策一ヌ. 廃棄物減量等推進員の活用(P. 63)

(11) 不法投棄・不適正排出防止キャンペーン【継続】

市民、行政が連携・協働し、ごみ収集前の排出状況の確認、排出時の指導、ごみ収集後の状況確認や集積所の清掃など、ごみ集積所の環境美化を図るとともに、相互の関係性の強化や、不法投棄や不適正排出のしづらい環境づくりを強化するものです。令和元年度からは、防止活動をより効果的にするため、監視カメラの貸与と併せてキャンペーンを実施しています。

	R1	R2
実施日	6/3、6/6、6/12、7/2、7/5、8/21、8/26（計7日間）	4/20、4/27、6/16、8/12、8/18、9/30、10/12、10/20、10/21、10/28（計10日間）
実施場所	蒔中町会、賀田町会、大清水町会、堅田町会、田中町会集積所（5町会7カ所）	石川町会、蒔中町会、桜ヶ丘県営住宅第二町会、泉田町会、高田町会、北園町会、大原町会、城東中央一丁目町会、城東中央四丁目町会（9町会12カ所）



基本計画の関連項目 ▶ その他一ホ. 不法投棄対策 (P. 65)

(12) 水銀添加廃製品の回収【継続】

平成30年1月から水銀添加廃棄物の適正な分別・回収の促進を目的に、家庭内に眠っている水銀体温計・水銀温度計・水銀血圧計等を回収しています。

回収窓口	本庁舎（環境課）、 市民課駅前分室（ヒロコ3F）、 市民課城東分室、 岩木総合支所民生課、 相馬総合支所民生課、 弘前地区環境整備センター、 東目屋出張所、船沢出張所、 高杉出張所、裾野出張所、 新和出張所、石川出張所
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



基本計画の関連項目 ▶ その他一メ. 処理困難物への対応 (P. 63)

(13) 一般廃棄物組成分析調査【継続】

ごみの排出状況を把握するとともに、どのような種類のごみがどの程度含まれているか（組成割合）を調査し、更なるごみの減量化・資源化推進のための基礎資料としています。

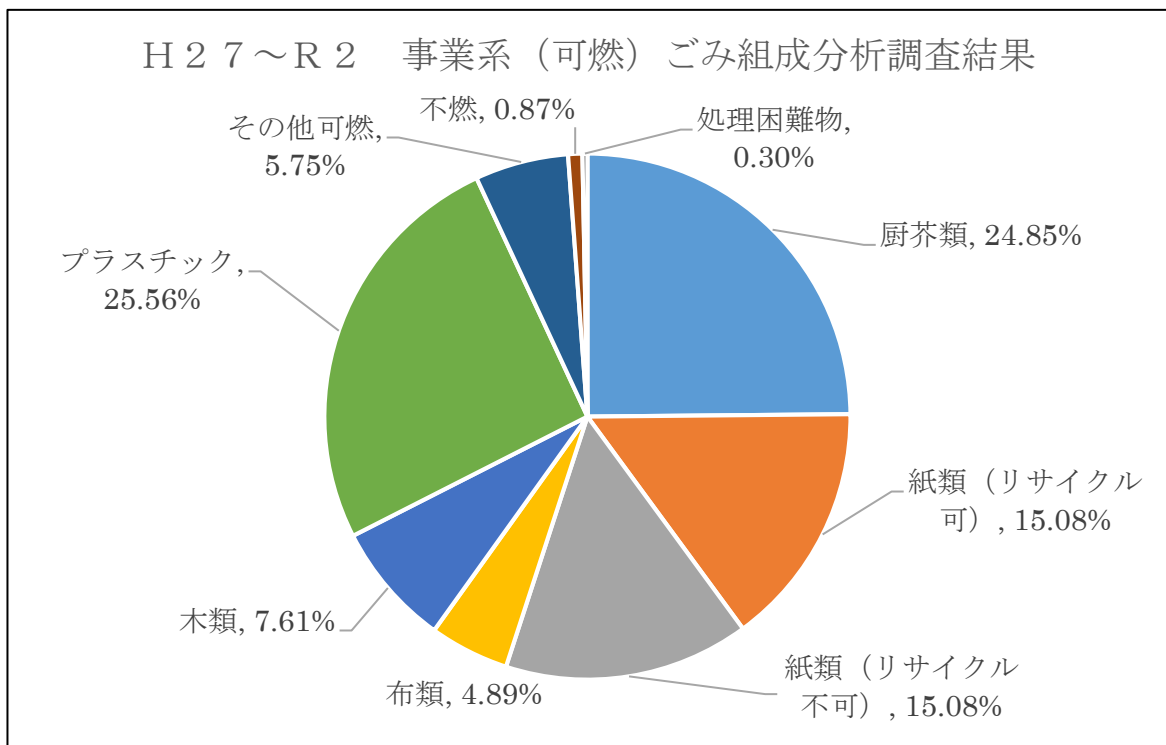
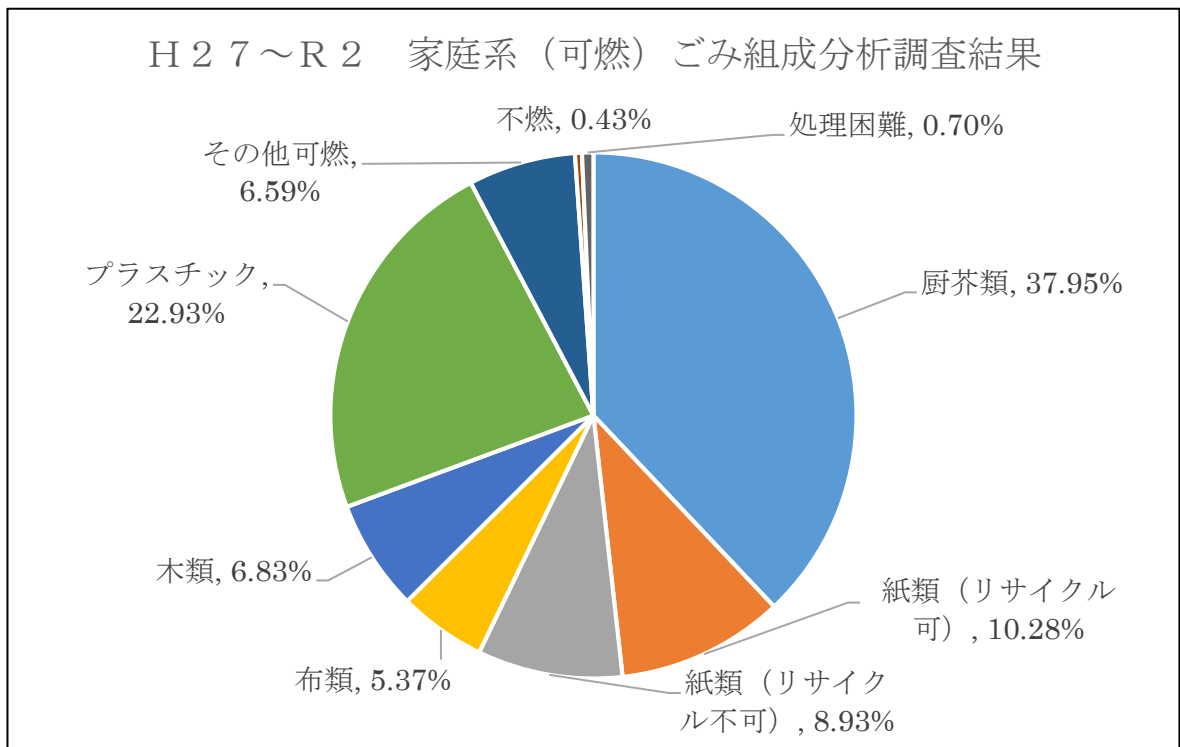
●実施回数

	H29	H30	R1	R2
家庭系燃やせるごみ	7回	4回	4回	4回
家庭系その他の紙	1回	1回	—	—
家庭系雑がみ	2回	1回	3回	2回
事業系燃やせるごみ	4回	2回	3回	4回

●想定条件ごとの実施回数（家庭系燃やせるごみ調査）

	H29	H30	R1	R2
学生居住地域	1回	1回	0回	1回
商業地域	1回	0回	0回	0回
住居地域	3回	1回	2回	2回
農村地域	2回	2回	2回	1回
住居兼工業地域	0回	0回	0回	0回

●調査結果（平成 27～令和 2 年度）



(14) 事業系ごみ適正排出指導【継続】

平成27年度より市のごみ収集運搬委託業者である弘前環境管理協同組合の協力を得ながら、主に店舗兼住宅や小規模事業所を対象に、本来事業系ごみとして排出すべきごみが家庭系ごみとして集積所等に排出されている状況を市内一斉に調査するとともに、排出元を特定し、指導を行っています。

年度	H29	H30	R1	R2 (~12/31)
指導件数(件)	44件	24件	19件	14件

基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策—コ. 事業系ごみの適正分別・適正排出の推進(P. 61)

(15) 展開検査【拡充】

事業系ごみの適正排出を促進するため、平成27年度から弘前地区環境整備事務組合が管理・運営する環境整備センターにおいて、搬入される事業系ごみの展開検査を実施しています。

また、令和元年12月から搬入規制(分別不十分、産業廃棄物混入)を実施し、事業系ごみの更なる適正排出と減量化・資源化を図っています。

展開検査実績		H28	H30	R1	R2 (~12/31)
検査日数		229	237	274	160
台数	可燃	827	960	2,138	1,463
	不燃・大型	—	234	683	134



基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策—タ. 焼却施設における展開検査(P. 62)

(16) オフィス町内会の推進【継続】

平成22年度に設立された「弘前地区オフィス町内会」は、一般の会社や事務所、官公庁、病院、銀行などの事業所から排出される古紙類を資源回収業者が無料で回収するネットワークです。

市では、事業系古紙類のリサイクルを推進するため、広報活動などにより、排出事業者会員の拡大を図っています。平成30年度末からは、各団体との協定の中で、オフィス町内会への積極的な加入を呼びかけています。

●回収品目及び対象地区

回収品目	(1) 一般古紙（無料） ダンボール、新聞等（新聞、チラシ）、その他の紙 (2) 機密文書（有料）
対象地区	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、 大鰐町、田舎館村、西目屋村

●会員数及び回収実績（弘前市分）

年度	H29	H30	R1	R2 (~12/31)
会員数	286	297	386	402
回収量（kg）	440,763	440,470	502,496	467,331

●県内4地区回収実績推移（単位：kg）

年度	H29	H30	R1	R2 (~12/31)
青森地区	249,514	231,353	235,842	178,987
弘前地区	523,558	556,852	621,940	580,470
西北五地区	77,605	63,449	67,851	46,408
十和田地区	198,604	237,140	243,645	163,064

基本計画の関連項目

市民や事業者の協力による施策一ネ. オフィス町内会の推進(P. 63)

2 生活排水処理施策の状況

(1) 合併浄化槽整備事業費補助金【継続】

下水道及び農業集落排水施設の計画処理区域外での生活排水の適正処理を推進するため、新たに合併処理浄化槽を設置する際に費用の一部を補助しています。

●補助基準額

人槽区分	5人槽	6～7人槽	8～10人槽
補助限度額（円）	352,000	441,000	588,000

※これらの補助金には、国の循環型社会形成推進交付金（1/3）及び
県の浄化槽整備費補助金（1/6）が含まれるため、市負担額は（1/2）となる

●補助実績

年度		H29	H30	R1	R2
補助 基 数	5人槽	0	3	1	0
	6～7人槽	1	0	0	0
	8～10人槽	0	0	0	1
補助額（円）		441,000	1,056,000	352,000	588,000